

2026  
2/17  
TUESDAY

寄り添う学びで未来を描く

UEKUSA GAKUEN UNIVERSITY

# 高大連携体験授業

Ku-Su Ku-Su  
OPEN

無料でランチできます  
☆体験授業申込時に  
予約してください。

2限 11:00 ~ 12:30 千葉若葉キャンパス

## 冬をホッと元気に過ごす 小学校家庭科の授業をしよう

小学校教育コース



発達教育学部  
講師 前田 由美子

私たちは季節や状況に合わせて住まい方や日常着の着方を工夫し、健康で快適な暮らしをしています。寒い季節はどのような着方をしているでしょうか。暑い季節の着方とはどこに違いがあるでしょうか。小学校の家庭科では、衣服の主な働きを理解し、日常着の快適な着方について学習します。小学校の先生を志す本学の大学生は、この学習について指導の留意点や適切な教材を考え、児童が主体となって取り組む授業を実践しています。今回はその一部をみなさんに体験していただきます。持ち物：筆記用具、はさみ

## 体験！特別支援教育の実践

特別支援教育コース



発達教育学部  
教授 佐川 結子

障害のある子ども達と仲良くなるには、どうしたらいい？  
大学生と一緒に人とのいろいろな接し方を体験してみよう。  
一人一人の「違い」「自立」について考えた後、グループワークでさまざまな活動を体験しよう。「話を聞く時」「出会う時」「活動する時」「食べる時」...日常の何気ない場面の体験を通して新しい気づきを見つけよう。

## なぜ子どもは遊ぶのか

幼児教育・保育コース



発達教育学部  
教授 黒木 大太郎

子どもたちは遊ぶことを通じて育ちます。  
保育は遊びを通じた教育とも言われます。  
本時は、植草学園大学附属井天こども園の子どもたちが、日頃の遊びの中でチャレンジしている「コマ遊び」を実際に体験しながら、その「遊びの不思議」について一緒に考えます。この授業は大学の授業として「こどもと環境」という1年時の授業内容の一部です。

## 同じタイプで集まると、何が起こる？ 性格診断×大学体験

発達教育心理コース



発達教育学部  
准教授 金子 功一

性格検査「ライプタイプ」の結果をもとに、タイプ別のグループに分かれて活動します。大学生が中心となって話し合いを進めることで、自分の考え方の特徴や強みに気づくことができます。心理学を「知識」ではなく「体験」として学びながら、大学の学びや学生生活を身近に感じられる、高校生のための特別な授業です。

## 足を変えると姿勢が変わる！ 立ち上がりバランスの秘密を体験しよう

理学療法



保健医療学部  
講師 石坂 正浩

みなさんは、「足を少し変えるだけで立ち上がり姿勢が変わる」という話を知っていますか？実は、足のアーチの使い方、体重のかけ方を少し調整するだけで、体が安定し動きやすくなる場合があります。足は体を支える「土台」であり、日常生活やスポーツにも大きく影響します。この授業では、足を操作することで立ちやすさや姿勢がどのように変わるのかを、実際に体験しながら学びます。専門知識は不要で、変化を自分の体で感じる実践型の内容です。激しい運動はありませんが、靴を脱いで動くため、参加しやすい服装がおすすめです。身体のしくみを楽しく理解し、「今日から使える動きのコツ」を一緒に見つけましょう！

## 障害のある子ども達の暮らしを育む 気持ちのコントロール

作業療法



保健医療学部  
講師 大塚 彰

作業療法の対象になるお子さんの中には、様々な理由で気持ちのコントロールが苦手なお子さんがいます（私達にも同じようなことがあるかもしれません）。大きな社会に参加する時に大切な気持ちのコントロールについて、特徴の理解や対処の方法をご説明します。（授業の最後には、少し自分とうまく付き合えるようになっていくのか...?）

2限 11:00 ~ 12:30 椿森キャンパス

## 体験してみないとわからない世界！

看護



看護学部  
教授 石井 良彦

どう見える？どう聞こえる？どう感じる？  
— 高校生のための高齢者体験ラボ —

この講座では、加齢によって高齢者にとってどのような変化が起きているのかを講義・演習を通して学びます。加齢の影響を受けた高齢者の一人称体験として、文字が読みにくい、色の見分けが付きにくい、言葉が聞き取りにくい、細かい作業がしづらいといった変化を実際に体験します。また、高齢者体験キットの装着によって、高齢者に多い姿勢の変化や動きづらさも総合的に体験できます。さらに、車椅子で介助する側・される側として、屋内外の段差等の体験もします。これらを通して、加齢によって高齢者の生活にどのような影響があるのかを「自分ごと」として理解し、そこで必要とされる看護について考える機会となる授業です。

## 体験授業で植草学園大学を決めました！（看護学部 1年生）

私は1年・2年時に連携校体験授業に行きました。2限は志望分野、3限は違う分野の授業も受けることができ、選択の幅があるのも良かったです。高校時代に実際の大学の授業が受けられることはとても魅力的です。他大学にない体験授業、絶対に参加することをお勧めします！

植草学園大学の体験授業は、2限 と 3限 で異なる分野を希望できます ☆看護学部の授業は 椿森キャンパス で行います

2限	発達教育学部 希望の方	千葉若葉キャンパス	集合・講義
2限	保健医療学部 希望の方	千葉若葉キャンパス	集合・講義
2限	看護学部 希望の方	椿森キャンパス	集合・講義

無料送迎バスで移動します  
千葉若葉キャンパス  
↓  
椿森キャンパス

3限	発達教育学部 希望の方	千葉若葉キャンパス	14:00 ~ 15:30
3限	保健医療学部 希望の方	千葉若葉キャンパス	14:00 ~ 15:30
3限	看護学部 希望の方	椿森キャンパス	14:00 ~ 15:30

※2限を千葉若葉キャンパスで受講される方は、千葉若葉キャンパス内 Ku-Su Ku-Su でランチになります。  
※受講が椿森キャンパスのみの方、2限3限とも椿森キャンパスの方、2限を椿森キャンパスで受講後千葉若葉キャンパスに移動される方は椿森キャンパスでランチになります。

※3限のみを希望される方は、それぞれのキャンパス集合になります。  
※椿森キャンパスで3限の授業を受けた方は、椿森キャンパスでの解散になります。

3限 14:00 ~ 15:30 千葉若葉キャンパス

## あなたは土用の丑の日に うなぎを食べますか？

小学校教育コース



発達教育学部  
教授 田中 真一

日本人は、「土用の丑の日」にうなぎを食べる習わしがあります。今年は、7月19日と7月31日が土用の丑の日でした。夏の暑い日にウナギを食べると夏負けしないと言われていました。土用とは？丑の日とは？なぜ、土用の丑の日にうなぎを食べるの？など素朴な疑問を解決します。一方で、うなぎは絶滅危惧種です。うなぎを絶滅させないために世界各国がうなぎの保護に取り組もうとしています。絶滅を避けることはとても大切なことです。私たちは、日本の文化の伝承と自然保護という二つの価値について、どのように考えていけばよいのでしょうか。本講座に参加した皆さんとともに考えていきます。

## 私は何か？～発達障害について考える～

特別支援教育コース



発達教育学部  
教授 野澤 和弘

学校ですぐい勢いで増えているのが発達障害です。文部科学省の調査（2022年）では通常学級の児童・生徒の8.8%が発達障害ではないかという結果が出ています。11人に1人。しかし、おかしなことではありません。誰の中にも発達障害の凸凹はあります。発達障害を考えたということは、自分自身について知ることでもあり、社会のあり方を考えることです。そして、人間の深く多様な魅力を知ることでもあります。

## 楽しい保育園をつくらう！

幼児教育・保育コース



発達教育学部  
教授 小川 凜

子どもたちが楽しく過ごせる保育園をみんなで考えていきます。遊び、食事、トイレ、お部屋、先生などなど、子どもの視点で考えてみてください。

## 集団による話し合いと他者からの影響

発達教育心理コース



発達教育学部  
助教 清水 有紀

私たちは集団の中で生きています。三人寄れば文殊の知恵というようにグループみんなで考えた方が優れたアイデアや結論を導くことができるかと考えています。実際にはうまくいかないこともあります。このように集団で行う話し合いと他者からの影響が自分以外の集団のメンバーからどのような影響を受けているのかについて社会心理学の視点から紹介します。

## 小学校における英語教育

教養教育



発達教育学部  
講師 伊東 賢

小学校における英語教育の在り方について考えます。前半では、第二言語習得のプロセスについて扱い、人間がどのように外国語を身につけていくのか、そのメカニズムを学びます。後半では、第二言語習得のプロセスを踏まえた小学校での授業の考え方について体験的に学びます。これらの学びを通して、小学校の英語授業における「楽しさ」だけではなく、言語習得を促す授業設計の考え方や工夫について考えます。

## 体幹機能を体感してみよう

理学療法



保健医療学部  
講師 松岡 理雄

みなさんは「体幹」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。読んで字のごとく、「体の幹となる部分」を指します。体幹がしっかりしていると、腕や足、頭が立派な柱を支えることができます。体幹は、薄くて小さい「インナーマッスル」と太くて大きい「アウターマッスル」が仲良く働くことで強いパワー・スタビリティを発揮することができ、今回の講義でも、体幹の働きを体験してより強い体づくりを目指してみよう！床に横にならなすので、マットは控えた方がよいと思います。ちなみに、部屋全体でやっているようなキツイ腹筋などはやりませんのでお気軽にご参加ください！

## 発達障害領域の作業療法 ～福祉サービスにおける実践例～

作業療法



保健医療学部  
教授 田中 直人

塗り絵やハサミ・箸の扱いが苦手、縄跳びやリコーダーが上手できないなど、手先の器用さや運動の計画性課題となる子どもたちの支援が求められています。苦手さの背景にある運動・感覚機能などの個人特性を分析し、実用的な生活スキルを指導・援助する作業療法。授業では、児童発達支援・放課後等デイサービスといった福祉領域における実践例を紹介します。

3限 14:00 ~ 15:30 椿森キャンパス

## 子どもの「バイタルサイン」：からだの状態を観察してみよう！！

看護



看護学部  
准教授 中水 流彩

人間の生命状態（からだの状態）をあらゆる重要な指標には「バイタルサイン」とよばれるものがあり、バイタルサインには「体温」「脈拍」「呼吸」「血圧」「意識状態」などが含まれます。バイタルサインの観察は、患者さんのからだの状態を知るために絶対に欠かせないものであり、看護師や保健師にとって、バイタルサインに関する正しい知識や観察方法を身につけることは、とても大切なことです。講座では、バイタルサインの基礎知識や観察方法についてミニ講義を行い、大人と子どもの違い、小児看護ならではの診かたとツワを伝授します。聴診器やペーパードラムを使って、呼吸音・心拍音の聴取や脈拍・体温の測定を、一緒に体験しましょう！

## お申し込み期間

■ 高大連携校/附属高校の高校生  
2026年1月14日(水)～1月22日(木)  
■ 全ての高校生  
2026年1月28日(水)～2月5日(木)

## 体験授業 お申し込み

○体験授業について  
○授業内容の詳細



ACCESS  
千葉若葉キャンパス  
椿森キャンパス



植草学園大学  
UEKUSA GAKUEN UNIVERSITY



千葉若葉キャンパス  
〒264-0007  
千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3  
TEL: 043-233-9031 (代表)  
千葉医療センター内椿森キャンパス  
〒260-0042  
千葉県千葉市中央区椿森4丁目1-2  
TEL: 043-306-8650